

### ゴボウの夏播き栽培法

境田耕作・坂元政寛・梅木佳良  
(宮崎県総合農業試験場畑作園芸支場)

Kosaku SAKAIDA, Masahiro SAKAMOTO and Yoshinaga UMEKI :  
Cultivation Technique of Burdoc Seeding in Summer

4月に播種して、12月から年を越して収穫するゴボウの、在圃期間の長期化による品質低下が問題となっている。そこで、この時期に高品質なゴボウを生産するための夏播き栽培技術を確認するために、夏季の厳しい気象条件下で発芽・苗立ちおよび生育を安定化させるための播種期と被覆資材について検討を行った。

#### 1. 材料および方法

品種に柳川理想を供試し、栽植密度は1667株/a (1998年), 1984株/a (1999年, 2000年)とし、試験1, 2を行った。

##### 試験1：播種期試験

1998年7月1日, 7月31日, 8月18日, 9月2日, 1999年7月22日, 8月19日, 2000年6月30日, 7月17日, 8月4日, 8月29日の播種日について、白黒ダブルマルチ被覆を行い検討した。

##### 試験2：被覆資材試験

白黒ダブル, 白黒サマー, ペパロン, 紙マルチ (以上マルチ被覆), ホワイトタフベル, 黒寒冷紗 (以上トンネル被覆), 無被覆の試験区を設け, 2000年8月7日播種で検討した。

#### 2. 結果および考察

##### 試験1：播種期

1) 出芽率は、1998年9月2日播種および2000年8月4日播種は80%以上であったが、他の播種期はいずれも70%台以下であった (第1表)。出芽率低下の要因として1998年は少雨・高温, 1999年と2000年は多雨による影響が考えられた。しかし、欠株率は、1998年は3粒/株, 1999年と2000年は2粒/株播きを行い、間引きにより1本立ちとしたことで、20%以下に抑えることができた (第1表)。

2) 播種後約130日目の根部生育は、1998年は平年よ

り7月~11月の気温が高く、7月, 8月が少雨であったため生育が極端に劣ったが、平年並みの気象であった2000年の8月4日, 8月29日播種で順調な生育がみられ、収穫始めを根重100g程度とすると、8月4日播種では12月中旬, 8月29日播種では1月上旬収穫が可能であり、両播種期は品質的にも優れた (第2表)。

##### 試験2：被覆資材試験

1) 8月12日の晴天下での最高地温 (地表下5cm) は、無マルチが37.6℃であったのに対し、ペパロンが29.8℃で最も低く、次いで紙マルチが33.1℃, 白黒ダブルが33.5℃であった。

2) 生育期間中のマルチ被覆区およびトンネル被覆区のpF値は、常に無マルチ区より低く推移し、無マルチ区で最も高いpF2.32を示した8月14日には、白黒ダブルpF2.15, 白黒サマーpF2.18, ペパロンpF2.19, 紙マルチpF2.23, ホワイトタフベルpF2.26, 黒寒冷紗pF2.24であった。

3) 白黒ダブル, 白黒サマー, ペパロン, 紙マルチは、出芽期が8月13日から14日で無被覆より1週間程度早く、出芽率は無被覆より18ポイント以上高く、欠株率は14ポイント以上低かった (第3表)。

4) 播種後約6ヶ月目での収量・収穫本数は、ペパロンが202kg/a・1,323本/a, 白黒ダブルが199kg/a・1,376本/aで優れ、次いで紙マルチがよく、いずれも過肥大やすり等がなく、品質も優れた (第4表)。

以上、平年並みの気象下において2粒/株を8月上旬に播種し、地温上昇や土壌乾燥を抑える効果の高いマルチ被覆を行うことで、12月から2月に高品質ゴボウ生産が可能である。しかし、異常な高温・少雨・多雨などの気象下での栽培については、さらに検討が必要である。

第1表 出芽および間引き直後の苗立ち

播種期	出芽率 (%)	欠株率 (%)
1998年7月1日	72.6	9.7
7月31日	68.7	3.5
8月18日	79.7	2.0
9月2日	93.4	0.1
1999年7月22日	75.9	16.6
8月19日	75.3	12.5
2000年6月30日	72.6	17.6
7月17日	69.4	11.3
8月4日	83.8	9.5
8月29日	70.4	12.5

第2表 播種後約130日目の生育

播種期	根径 (mm)	根重 (g)	根長 (cm)	岐根率 (%)	す入り (%)
6月30日(00年)	22.9	114.8	61.2	75.5	0.0
7月1日(98年)	15.4	32.5	77.6	26.8	0.0
7月17日(00年)	23.8	150.0	58.3	79.5	0.0
7月22日(99年)	17.8	95.3	77.4	33.9	25.0
7月31日(98年)	15.8	69.6	72.7	39.1	100.0
8月4日(00年)	21.2	113.9	65.5	29.2	0.0
8月19日(98年)	16.9	77.4	68.9	4.5	95.5
8月19日(99年)	19.5	138.8	73.0	53.3	81.7
8月29日(00年)	18.9	99.2	60.8	14.5	0.0
9月2日(98年)	16.8	72.7	71.6	27.4	100.0

第3表 出芽および間引き直後の苗立ち

被覆資材	出芽期	出芽率 (%)	欠株率 (%)
無被覆	8/21	63.7	20.3
白黒ダブル	8/13	89.2	5.4
白黒サマー	8/13	82.4	5.9
ペパロン	8/13	86.5	5.9
紙マルチ	8/14	90.8	3.6
ホワイトタフベル	8/16	81.3	15.8
黒寒冷紗	8/15	86.0	10.4

第4表 播種後約6ヶ月目 (2月15日) の生育および収量

被覆資材	根径 (mm)	調整根重 (g)	調整根長 (mm)	収量 (kg/a)	収穫本数 (本/a)
無被覆	23.8	189.8	70.2	160.4	794
白黒ダブル	22.3	128.2	61.3	199.4	1,376
白黒サマー	21.3	113.2	53.2	134.1	1,058
ペパロン	22.0	139.5	60.3	202.3	1,323
紙マルチ	22.7	144.2	64.0	176.8	1,164
ホワイトタフベル	22.9	135.7	55.3	160.8	1,111
黒寒冷紗	24.5	184.6	60.7	156.9	952